

第12回文法研究ワークショップ

「場所」を項とする動詞

開催のお知らせ・募集要項

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。

今回は「場所」を項とする動詞に関連する通言語的な特徴や多様性を観察し、この問題に関する様々なアプローチを考えます。「場所（イベントが起こる場所、目的地、出発地、経路、着点など）」を表す形態統語的手段は多様ですが、本ワークショップでは「場所」が動詞の項として現れる場合を取り上げます。例えば、以下のような様々な側面からの議論が考えられます。

- ・「場所」が項となる動詞（主に2項動詞）の意味的特徴
- ・「場所」が動詞の項となる言語における、「場所」を表す他の形態統語的手段
- ・「場所」が動詞の項となる場合と、他の形態統語的手段で表される場合の文法的・意味的な違い

記

1. 開催日時：2018年1月25日（木）13:30～17:30
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）  
マルチメディア会議室（3階304室）
3. 発表者：阿部優子（AA研共同研究員、東京女子大学）  
「場所を項とするスワヒリ語動詞」  
岡本進（東京外国語大学大学院博士後期課程）  
「フィジー語の他動詞目的語に現れる名詞句の意味役割：「場所」を中心に」  
小林美紀（国立アイヌ民族博物館設立準備室）  
「場所を項とするアイヌ語動詞」
4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生（大学院生以上を原則とします）
5. 定員：20名程度
6. 参加申込方法：下記URLにアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。  
なお、右記QRコードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/180125-flws-gram>

7. 申込締切：1月24日（水）正午（ただし定員に達し次第締め切りますますので、お早めにお申し込みください）
8. 問い合わせ先：「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局 info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）
9. その他：ワークショップは日本語でおこないます。  
参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去の文法研究ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上